わがまち再発見!!

対馬市教育委員会　文化財課
☎0920(54)2341

対馬各地の地名（大字編）

【豊玉町卯麦（むぎ）】

『津島紀事』では、由来について未詳と記していますが『新対馬島誌』では、古事記の山幸海幸伝説に由来するとしており、山幸彦が釣針を探しに来られたときに、土地の者が麦甘酒を出したので「有麦」となったと伝えています。また「卯麦」に改められたのは元禄十六年（1703）とされています。

なお、仁位と卯麦の中間には「糠（ぬか）」地区があります。室町時代の古文書にも見える古い地名で、卯麦村の枝村とされていました。江戸時代には独立した村として取り扱っていますが、由来についてはよく分かっていません。

【豊玉町佐保（さほ）】

『紀事』では、由来について未詳と記しています。室町時代の古文書には「佐尾」と書いて「さお」と読んでいるもの「佐保」と書いて「さほ」と読んでいるものとが同時に存在しています。

このことから『豊玉町誌』では、佐保浦が狭く深く湾入した地形をしていることから「さ＝峡」「ほ＝穴（ほげる。穴がほげるが転じて、深く湾入した地形）」と、呼ぶようになったのではないかと推察しています。

現在でも「さお」と呼ぶのは、この「さほ」が訛ったものではないかとも推察しています。

【豊玉町貝口（かいぐち）】

『紀事』によると、この地が仁位浦の口に在ったことから「海口」の意味、あるいは廻地区にあった池田牧場に飼葉を供給していた場所であったことから「飼口」となったとも伝えています。

また『豊玉町誌』では「カイ」という語が古くは「崖あるいは峡」という意味があったとの説から、貝口湾入口にある断崖のスス崎が語源となっているのではないかと推察しています。

豊玉町卯麦　殿様壇

（古くは宗貞茂の墓ではないかと伝えられた中世式の基壇。現在では貞茂の墓ではないと考えられている）

つしま図書館情報

つしま図書館　☎0920(52)3900

●図書館カードの更新手続きを行なっています。
期限切れの方はカウンターまでお持ちください。
（住所の確認ができるものが必要になります。）

11月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

今月のおすすめ新着本

一般書

『好印象を与えるママ＆パパの子連れマナー』
岩下　宣子／著
親になると、マナーに悩むことが多く発生します。そんなとき、どうふるまうと好印象を与えられるのか、マナーのプロがやさしくていねいに解説。

『王とサーカス』
米澤　穂信／著
太刀洗万智が取材のために向かったネパールの王宮で、国王をはじめとする王族殺害事件が勃発する。ジャーナリストとして早速取材を開始したが…。

『日本の名家』
洋泉社MOOK／編
和歌の伝統を継承してきた冷泉家、弓馬術礼法で知られる小笠原家など、日本の歴史に名を残す名家に迫る。

児童書

『よるのつみきだいさくせん』
新井　洋行／作
真夜中に物音が…。もしかして、どろぼう？積み木たちが形を作り、懐中電灯で照らすと影絵ができる。それを見たら、どろぼうは驚いて飛び出るよ。

『パスワードUMA騒動』
松原　秀行／著
ドラマにエキストラとして出演することになったマコトたち。向かった孤島では次々と不思議なことが起こる。探偵団はUMAを発見してしまうのか!?

『ドラえもん社会ワールド 政治のしくみ』
藤子・F・不二雄／編
ドラえもんのマンガで、地域の暮らしや身近な所にもある政治のしくみ、選挙など、様々なテーマをわかりやすく解説します。